

コロナ禍に負けないように 楽しくすごすために

在宅介護家族会 かたよせ会

高山 都規子

(家族介護 明るい未来のために)

1. 目的

平成6年 私の定年と同時に主人が脳梗塞で倒れ、介護する身となる。娘時代に父親を5年間看病した経験はあったがわからない事ばかりだった。その当時、社会福祉協議会で介護をしている人の慰労の旅行会があり、知り合った仲間12名で平成9年11月「かたよせ会」を立ち上げた。お互いに情報交換や癒やしを目的とした。今年で25年活動している。



2. 実践内容

毎月第3木曜日10時から16時迄「上北沢ふれあいの家」で開催。年会費1500円 参加の時200円 催事のみは300円。会員は現在28名。介護現役の人も少なくなり、看取られた人は多いが保健センターから指導の先生による健康体操もしている。

3. 結果

私達の会はイベントが多いのが特徴で、毎年3月に新年度の計画を決めて、落語、ラテンコンサート、ファッションショー、会食、新年会、クリスマス会等行ってきたが今年は新型コロナウイルスの為、まだ会場は使用出来ず人数制限、飲食は駄目、大きな声で歌ったり、おしゃべりもだめ、禁止条件が多く6か月、会は開催できなかった。9月は別企画で(手工芸)でやっとはじめられた。10月は体温検査、殺菌、消毒、三密を守りながらフェイスシールドをつけて第15回のファッションショーを開催出来るようになった。



